

次の薬物の作用機序と、代表的な特徴を書いてみよう!

	薬物	作用機序	適応など特徴
1	ベタネコール		
2	プラゾシン		
3	サルメテロール		

解答

	薬物	作用機序	適応など特徴
1	ベタネコール	副交感神経興奮薬 (合成コリンエステル類) ・ムスカリン受容体刺激	<ul style="list-style-type: none"> ・ニコチン作用無し ・ChEで分解されにくい =作用持続時間が長い ・臓器選択性有 ・適応：腸管麻痺、排尿困難
2	プラゾシン	交感神経抑制薬 ・選択的 α_1 受容体遮断	<ul style="list-style-type: none"> ・適応：高血圧症
3	サルメテロール	交感神経興奮薬 ・選択的 β_2 受容体刺激	<ul style="list-style-type: none"> ・適応：気管支喘息 ・弱いβ_1刺激作用有り →副作用：頻脈、振戦など